

## 製品名: カスパーゼ 14 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe04015

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質を含む液体。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:28 kDa;Observed MW: 28 kDa

### 抗原情報

遺伝子名	CASP14
別名	CASP14; Caspase-14; Caspase 14; MICE; CASP-14
遺伝子 ID	23581
SwissProt ID	P31944
免疫原	ヒトカスパーゼ 14 の合成ペプチド

### 背景

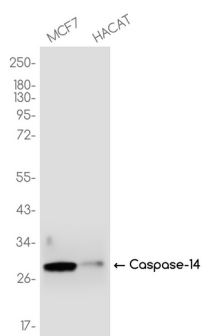
カスパーゼは、アポトーシスの実行に重要な役割を果たすシステインプロテアーゼファミリーです。カスパーゼ 14 (MICE と呼ば

れる) は、カスパーゼファミリーの中で発現が限定されているユニークなメンバーであり、胎児組織と成体の皮膚に存在します。カスパーゼ 14 はカスパーゼ 8 によって p18 サブユニットと p11 サブユニットに弱く分解されます。また、ケラチノサイトの終末分化において、フィラグリンのタンパク質分解にも関与している可能性があります。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



カスパーゼ 14 抗体を使用した MCF7、HACAT 溶解物中のカスパーゼ 14 のウェスタンブロット分析。